

資料 2

令和2年度 米原市 合同説明会資料

社会福祉法人米原市社会福祉協議会

目次

- P.1 誰もが安心して暮らせるまちづくりを
ご近助活動のポイント
- P.3 ご近助活動の流れ（例）
- P.4 反省会シート（引き継ぎ書）の利用について
- P.5 反省会シート（引き継ぎ書）参考 様式A
- P.6 反省会シート（引き継ぎ書）参考 様式B
- P.7 地域福祉活動補助金交付要綱
- P.9 地域福祉活動補助額（別表）
- P.12 サロンの開催、子ども食堂・学習支援の開催について
- P.13 見守りネットワーク会議の開催について
- P.14 新規事業の実施について
- P.15 地域福祉活動補助金交付までの流れについて
- P.16 地域福祉活動補助金交付申請書兼請求書（記入例）
- P.17 地域福祉活動 事業計画書（記入例）
- P.23 地域福祉活動補助金（新規事業の実施補助）事業計画書（記入例）
- P.26 地域福祉活動補助金（居場所継続支援補助）事業計画書（記入例）
- P.28 地域福祉活動補助金変更届出書（記入例）
- P.29 地域福祉活動補助金実績報告書（記入例）
- P.30 地域福祉活動 事業報告書（記入例）
- P.36 地域福祉活動補助金（新規事業の実施補助）事業報告書（記入例）
- P.39 地域福祉活動補助金（居場所継続支援補助）事業報告書（記入例）
- P.41 まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付要綱 等
- P.56 米原市協働提案事業「福祉車両貸出事業」のご案内
- P.58 貸し出し備品一覧表
- P.60 備品貸出注意事項
- P.61 『みんなでごはん会』のご案内
- P.63 地域カルテの活用について
- P.64 サロン等出張ボランティア一覧表

誰もが安心して暮らせるまちづくりを

ご近助活動は何のためにするのか

わたしたちの生活は、「高齢」や「障がい」をともなった時など、人生の様々な段階で、「子育てや介護に不安だが相談する人がいない」、「急病などいざという時に手助けしてもらえる人がいない」、「福祉制度をどのように利用したらいいかわからない」、「歩行が困難なため通院が思うようにできない」、「自中は一人で寂しい思いをして暮らしている」、「近くに子育ての悩みを話したり、一緒に遊ぶ仲間がない」など、様々な困りごとや孤立した不安な状況が日常生活の中で生みだされます。

ご近助活動は、身近な生活の場で、このような不安な状況に対応し、誰もが安心して生きがいのある地域づくりを目指して、住民の力をあわせ、専門機関と協力し合いながら進める住民自身による自主的な活動です。

米原市の現状

現在市内で行われているご近助活動（一例）

サロン活動（高齢・子育て）
地域お茶の間創造事業
異世代交流活動
福祉講座の開催
遊園地遊具の点検整備
安否・見守り活動
通学合宿
こども食堂
災害時要援護者への支援活動　など

ご近助活動を行うボランティア

サロンボランティアをはじめ、除雪やゴミ出し等の日常の困りごとに対応するボランティアグループが地域で生まれ、育っています。

福祉推進員（福祉協力員、福祉委員）の役割

ご近助活動は、地域に住む住民の方の理解と協力なしでは進めることは困難です。そこで、福祉推進員は、自ら活動の主体となるだけでなく、地域での活動をすすめるために福祉理解を進める活動や福祉会の活動への協力者との連絡調整、企画立案などを進める役割があります。そのうえで、地域の実状に応じた活動をボランティアや住民の協力を得て進めていきます。

ご近助活動のポイント

地域の課題を明らかに

⇒適切な取り組みにつなげるためには、現状の把握が大切です。

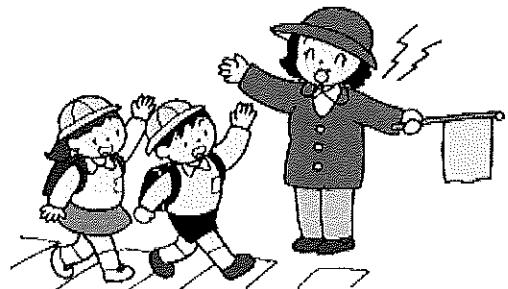
- 例) ・地域の課題について話し合う懇談会（福祉懇談会）
 - ・アンケート調査

活動に取り組む仲間作り

⇒一人ではむずかしいことも、仲間を募ることで可能となることもあります。

また、ボランティア同士のつながりの輪が広がります。

- 例) ・チラシにてボランティア（協力者）の募集
 - ・個人的にボランティアへの誘いかけ



住民の福祉への理解を図りながら

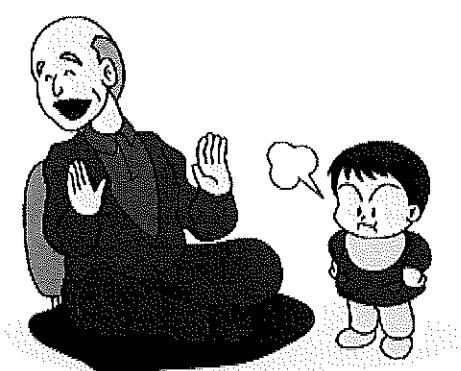
⇒ご近助活動への協力を得やすくなります。また、ご近所同士の支え合いの促進にもつながります。

- 例) ・広報誌等による周知
 - ・各種会議、懇談会などでの取り組みの周知

各種機関と連携を持ちながら

⇒住民の皆様だからこそ出来ることもありますが、各種機関と一緒に取り組むべきもの、各種機関が取り組むべきものもあります。また、各種機関と一緒に考えることも大切です。

- 例) ・各種講座等の依頼
 - ・各種機関への提案
 - ・各種機関との検討
 - ・各種機関との協働



取り組みを振り返り翌年度へ引継ぎ

⇒取り組みを評価し、改善案や翌年度計画案などについて検討し引き継ぎます。計画・実施・評価という一連の流れをとることでスムーズな活動へとつなげます。

- 例) ・反省会の開催
 - ・反省会シートの利用
 - ・翌年度事業計画案の作成
 - ・改善案の作成

ご近助活動の流れ(例)

(例・・・高齢者サロン活動について)

米原市
○○地域合同説明会

○出席者

自治会長・福祉推進員等・民生委員児童委員・お茶の間代表者・社協理事監事・社協職員など

○内容

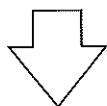
社協より下記に関する説明と紹介を行う。

- ・ご近助活動の推進について
- ・各種連絡事項について

計画

各自治会において

福祉会など打合せ会議



各自治会において

福祉会など運営会議
(福祉懇談会)

○出席者(5~10人程度の少人数が望ましい)

自治会長・副自治会長・福祉推進員等・民生委員児童委員・ボランティアリーダー・社協職員など

○内容

地域での声や前年度からの引継ぎ、合同説明会での内容を踏まえ、当年度の事業計画案の作成と、運営会議での議題や進め方などについて確認する。

(例)「足の不自由な方で、サロンに行きたいけど一人では来られない人がいるので、このことについて検討してほしい」と昨年の役員さんから申し送りがあった。これについて運営会議で意見をもらおう。

○出席者

自治会長・副自治会長・福祉推進員等・各種団体長・民生委員児童委員・ボランティア・社協職員など

○内容

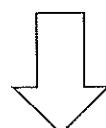
社協よりご近助活動の意義や社協事業についての説明を行う。打合せ会議で作成された事業計画案の周知・内容の再検討と、各種団体間の連絡・調整、地域の暮らしの問題について話し合いを行う。

(例) (上記の議題に対し) ボランティアが会館まで一緒に付き添おう。

実施

各自治会において

(例)高齢者サロンの開催



各自治会において

福祉会など反省会
(福祉会・サロン反省会)

(例)ボランティアによる会館までの付き添い。

評価

各自治会において

○出席者

自治会長・副自治会長・福祉推進員等・各種団体長・民生委員児童委員・ボランティア・社協職員など(福
祉会など打合せ会議と同じでもよい。可能であれば翌年度の主な役員も出席する。)

○内容

1年の活動を振り返り、評価と活動推進の検討を行う。できれば翌年度の改善案をまとめる。

(例)来年度は福祉会で車椅子を購入してはどうか。これを来年の役員さんに申し送ろう。

各自治会において

翌年度役員への引継ぎ

反省会シート(引き継ぎ書)の利用について

反省会シートは当年度の活動を振り返り、翌年度の新役員に引き継ぐことで活動の発展・改善・整理を目的としておりますので、よろしければご利用ください。

【利用方法】

福祉推進員様等より各種団体長様への反省会シートの配布 反省会開催案内時 (様式A)



各自シートへの記入(様式A)



反省会の開催 3月頃

- 各自記入したシートの持参 (様式A)
- 福祉会として調整や取り組み改善などが必要な内容について各種団体より提起する。内容を福祉推進員様等がシートへ記入する (様式B)



必要に応じて各自反省会シートの校正 (様式 A)



福祉推進員様等・各種団体長様より翌年度役員様へのシートを含めた引継ぎ



翌年度福祉会等においてシートを参考にしての検討

- ※ 用紙 (様式 A・B) が必要な方は社協事務所にございますのでお声掛けください。
- ※ また、福祉会等の組織がある自治会においては、【反省会開催のお願い】を発送する際 (1月頃) に、用紙 (様式 A・B) を同封することも予定しております。
- ※ 反省会シートは米原市社会福祉協議会への提出を目的としたものではありません。各福祉会および各種団体での振り返りと円滑な引き継ぎを目的としています。ぜひご利用いただき次年度役員様へ申し送っていただければと存じます。

様式A

参考

年度福祉社会反省会シート

(引き継ぎ書)

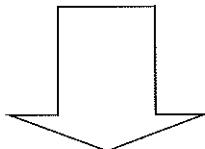
N.o. _____

○○○○ 福祉社会内 子ども会 部

年 月 日開催

本年度の取り組みを終え、評価できる点や課題

- ① 子ども会行事の中で初めて取り組みました、通学合宿が一番心に残り、また、大きな成果であったと思う。子ども達全員参加してくれたことも良かった。地域の方々にお世話になったことでボランティア意識の向上にもつなげていただけたと思う。
- ② 廃品回収および空き缶拾いを年3回行い、子ども達が出来るボランティア精神を養うことが出来た。
- ③ 世代交流会においても、ほぼ全員参加することができ、異世代ならではの楽しみ方、かかわり方を知ってくれたのではないか。
- ④ 遊具の点検と区内に飛び出し注意の看板設置を行った。子ども達の安全は地域で守ろうとの意識のもと、保護者の方々の協力で自治会内に数箇所設置することが出来た。
- ⑤ 小地域福祉委員会活動および地域パトロールの実施にて、地域の子ども達への意識付けを大きくしていただけた。



次年度への提案・改善案

- ① 地域の子ども達は地域で支えていくとの思いの下、子ども達の楽しみや健全育成のために子ども会行事のひとつとして次年度も継続されることを望みます。
- ② 年間 円まで補助も出ますので活動の続行。
- ③
- ④ 安全の為にも遊具の点検は年1回を提案する。
- ⑤

※本用紙は米原市社会福祉協議会への提出を目的としたものではありません。

各福祉会および各種団体での振り返りと円滑な引き継ぎを目的としています。ぜひご利用いただき次年度役員様へ申し送っていただければと存じます。

様式B

参考

年度福祉社会反省会シート

(引き継ぎ書)

No.

○○○○ 福祉会

年 月 日開催

本年度の取り組みを終え、評価できる点や課題（翌年度以降への引き継ぎ事項）

1. 老人クラブはダンベル体操を毎週行なっているが、10名程度の参加がある。夏休みの約40日間みんな熱心にラジオ体操に参加しているのはすばらしいことだ。子ども会下校指導に40名あまりのボランティアが参加しているのも良いことだ。
2. 子ども会は今年度初めて取り組んだ通学合宿に全員参加で実施できたのが印象深く今後も継続を望む。廃品回収や空き缶拾いはボランティア精神の向上にもなり、活動を継続していきたい。遊具の点検や飛び出し注意の看板設置により、地域で子どもの安全を守ろうという意識付けにも役立ち今後も点検継続する。
3. スポーツ少年団はUSJへ日帰り旅行を実施したが、予算の都合でボーリング大会は中止となった。また、次年度はラジオ体操や運動会などの行事に参加するよう申し送る。部活後の帰宅時は正規のルートを指導する。
4. 女性の会は上部団体から脱退したが○○自治会としては継続し、会館清掃や座布団の洗濯など従来どおり行なう。
5. 幼稚園は子育てサロンを実施したが親子が楽しくよい雰囲気の中で行なえて良かった。来年度も継続したい。
6. ボランティアとしては今後も独居老人のゴミの分別は継続していく。また、除雪なども今後の課題である。夏休み期間中は子ども会も遊園地のフラワーポットに水やりを検討して欲しい。ボランティア会員が少ないので、勧誘してはどうか。
7. 民生委員による振り返りでは、たすけあいの気持ちが大切で、「自分の町は自分で守る」必要がある。幸い、呼びかけられれば皆が協力していただけることはありがたい。
8. 遊園地の草引き・ゴミ当番・環境整備などを老人クラブに依頼して欲しい。
9. サロンの運営費については、食事にかかる部分など、一部個人負担をしてもらう必要がある。
10. 冬季（1～3月）は○○会館を開放（有料）してもらって、みんなが集まって話し合える場にして欲しい。

※本用紙は米原市社会福祉協議会への提出を目的としたものではありません。

各福祉会および各種団体での振り返りと円滑な引き継ぎを目的としています。ぜひご利用いただき次年度役員様へ申し送っていただければと存じます。

社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助金交付要綱

(目的)

第1条 社会福祉法人米原市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、市内の自治会等における地域福祉の推進を図るために行う事業に要する経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

(交付の対象)

第2条 この補助金は、自治会等が、次の各号に掲げる事業を実施する際に要する経費に対し、交付するものとする。

(1) 基本補助

別紙のとおり、自治会世帯数により交付する。

(2) ふれあいきいきサロンの開催補助

ふれあいきいきサロンの開催回数により、限度額の範囲内において交付する。

(3) 子ども食堂・学習支援の開催補助

子ども等に対し、食事の提供または学習習慣の確立や日常生活習慣、社会性を育成するための場を月一回以上開設していることを要件に交付する。

(4) 福祉懇談会の開催補助

福祉懇談会を開催した場合に交付する。

(5) 見守りネットワーク会議の開催補助

高齢者や障がい者等に対して、当該自治会内の住民や福祉活動団体・関係機関・事業所等と実施する見守り活動等に関する連絡・連携会議を開催した回数により、限度額の範囲内において交付する。

(6) 避難行動要支援者参加型避難訓練の実施補助

米原市避難行動要支援者名簿に登録されている方が避難することを想定し、避難行動要支援者が参加する避難訓練を実施した場合に交付する。

(7) お出かけバスの運行補助

サロン等、地域住民の交流の機会における、外出時の民間バス借り上げ費用に対し交付する。

(8) 新規事業の実施補助

地域福祉向上のため、既存の活動以外に新しい活動を展開しようとする自治会等に最長3年間交付する。

(9) 居場所継続支援補助

ふれあいきいきサロン、子ども食堂、学習支援等、住民主体の住民交流の場を過去5年間、毎月実施していることを要件に、備品購入・修繕費用に対し限度額の範囲内において交付する。

(補助対象期間)

第3条 この補助は、当該年度の4月1日から3月31日の間に実施する活動を対象とする。

(補助金の交付額)

第4条 自治会等に交付する補助金の額は、別表の地域福祉活動補助額により算出された額とする。

(補助金の交付申請及び請求)

第5条 この補助金を受けようとする自治会等の代表者は、地域福祉活動補助金交付申請書兼請求書（様式第1号）に次の号に掲げる書類を添えて、第2条（1）～（7）については事業当該年度の5月末日までに、第2条（8）～（9）については事業当該年度の6月末日までに、本会会長に提出するものとする。

(1) 事業計画書（第2条（8）に関しては様式第1号－2、第2条（9）に関しては様式第1号－3添付）

(補助金の交付決定および通知)

第6条 本会会長は、前条の申請があったときは、総務地域福祉委員会において当該申請にかかる書類の審査および必要に応じて調査等を行い、適当と認めたときは、地域福祉活動補助金交付決定通知書（様式第2号）により通知するとともに、申請者に対し補助金を支払うものとする。

2 本会会長は、補助金の交付の目的を達成するため必要があると認めるときは、概算払いにより交付することができる。

(変更の届出)

第7条 補助金を受ける自治会等の代表者は、次の各号のいずれかに該当する場合には、速やかに本会に届出なければならない。

- (1) 事業の内容を変更（軽微な変更を除く。）する場合には本会会長の承認を受けなければならぬ。
- (2) 事業を中止し、又は廃止する場合には、会長の承認を受けなければならない。
- (3) 事業が予定の期間内に完了しない場合又は事業の遂行が困難となった場合において、速やかに本会会長に報告して、その指示を受けなければならない。

(事業実績報告)

第8条 自治会等は、補助事業が完了したときは、地域福祉活動補助金実績報告書（様式第3号）に次に掲げる書類を添えて、事業実施年度の翌年5月末日までに本会会長に提出するものとする。

- (1) 事業報告書（第2条（8）に関しては様式第3号-2、第2条（9）に関しては様式第3号-3添付）
- (2) 写真・チラシ等その他関係書類

(事業内容の公開)

第9条 本会会長は、補助事業の内容について、本会または本会が認める団体が作成する広報物、ウェブサイト等で公開するほか、本会会長が適当と認めた関係機関へ情報提供することができる。

附則 この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

別表（要綱第4条関係）

**社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助額
(福祉のまちづくり事業補助金)**

1. 基本補助

【基準日：令和2年4月1日】

自治会世帯数	補助額	対象自治会
200世帯まで	7,500円	長久寺・須川・大野木・清滝・梓・河内 志賀谷・北方・菅江・山室・大鹿・堂谷 本郷・万願寺・西山・加勢野・市場・夫馬 烏脇・坂口・村居田・井之口・野一色・小田 間田・天満・本市場・池下・山東桜ヶ丘 すみれヶ丘・平和台・グリーンタウン坂口 ヴィラルシオール・グリーンヒルズあさひ 甲津原・曲谷・甲賀・吉槻・上板並・下板並 大久保・小泉・伊吹・上野・弥高・高番 杉澤・伊吹ヶ丘・南川・村木・大清水・藤川 寺林・上平寺 梅ヶ原・中多良・上多良・多良・朝妻・筑摩 入江・賀目山・米原ステーションタウン 河南・樋口・南三吉・西坂・東番場・西番場 一色・枝折・下丹生・上丹生 能登瀬・日光寺・寺倉・新庄・箕浦・西円寺 岩脇・近江さくらが丘・リバティー近江 舟崎・高溝・長沢・飯・世継 ニュータウン重町・近江グリーンタウン 高溝東・リーディング坂田
201～300世帯	12,500円	朝日 米原・米原西・三吉・醒井 多和田・宇賀野・サンライズ近江 近江母の郷ニュータウン レイクサイド宇賀野
301世帯以上	17,500円	柏原・長岡 春照 下多良・磯 顔戸

別表（要綱第4条関係）

2. ふれあいいきいきサロンの開催補助

補助基本額	算出方法：1,000円×回数 限度額：24,000円 ※複数拠点で開催される自治会については限度額 36,000円
-------	--

※子ども食堂・学習支援の開催補助との重複申請は認めない。

※地域お茶の間創造事業との重複申請は認めない。

3. 子ども食堂・学習支援の開催補助

補助額	算出方法：1,000円×回数 限度額：24,000円 ※複数拠点で開催される自治会については限度額 36,000円
-----	--

※ふれあいいきいきサロンの開催補助との重複申請は認めない。

※地域お茶の間創造事業との重複申請は認めない。

4. 福祉懇談会の開催補助

補助額	1回 3,000円 各年度1回に限り交付する。
-----	----------------------------

※見守りネットワーク会議と同一の会議は除く。

5. 見守りネットワーク会議の開催補助

補助額	算出方法：1回 2,000円×回数 限度額：20,000円
-----	----------------------------------

※福祉懇談会と同一の会議は除く。

6. 避難行動要支援者参加型避難訓練の実施補助

補助額	算出方法：1回 3,000円 各年度1回に限り交付する。
-----	---------------------------------

7. お出かけバスの運行補助

補助額	○各年度1自治会1回限り ○補助限度額 大型バス（50人以上）30,000円 中型バス（30人以上49人以下）25,000円 小型バス（29人以下）25,000円 ※借上総費用額に対し上記金額を上限に補助。
-----	--

8. 新規事業の実施補助

補 助 額	<ul style="list-style-type: none">○毎年度3自治会まで○1年目：3自治会総額50万円2年目：3自治会総額25万円3年目：3自治会総額15万円○総事業費の3／4を上限とする。
-------	---

※福祉懇談会・見守りネットワーク会議の開催、避難行動要支援者参加型避難訓練の実施は除く。

9. 居場所継続支援補助

補 助 額	<ul style="list-style-type: none">○毎年度5自治会まで○限度額：50,000円○補助率：総事業費の3／4を上限とする。○補助対象：備品整備や修繕の費用
-------	---

※過去5年間居場所を毎月実施している自治会に限る。

※過去5年から現在まで地域お茶の間創造事業補助金を受けている自治会は除く。

ふれあいきいきサロンの開催について

ふれあいきいきサロン開催補助の目的

地域に住む住民、特に外出の機会が少なくなりがちな高齢の方、障がいのある方や子育て中の方等が、食事会、健康体操、おしゃべり等を楽しむ場（サロン）を通じて、地域住民同士が交流を持つことで、繋がりを深め、住みなれた地域の中で支え合い、安心して楽しく暮らしていくことを支援するきっかけになる場所が開催されることを目的に補助を行います。

ふれあいきいきサロン開催補助金

ふれあいきいきサロンを開催した回数により、限度額の範囲内において交付します。

1回1,000円（限度額24,000円） 申請書の提出期限は5月末日

※複数拠点で開催される自治会については限度額 36,000円

※子ども食堂・学習支援の開催補助との重複は認めない。

※地域お茶の間創造事業との重複申請は認めない。



子ども食堂・学習支援の開催について

子ども食堂・学習支援の開催補助の目的

少子化や核家族化、共働き世帯の増加、ライフスタイルの変化など、社会の状況は変化していますが、地域で子ども達を育てるという視点の大切さは変わりません。現代の新たな子どものニーズとして増えつつある孤食や学習機会に対しての地域活動のきっかけ、また、子どもをきっかけとしたまちづくり活動のツールとして、子ども達に食事の提供や、勉強を教える学習の場をつくられている自治会に対して補助を行います。

子ども食堂・学習支援の開催補助金

子ども食堂・学習支援を開催した回数により、限度額の範囲内において交付します。

1回1,000円（限度額24,000円） 申請書の提出期限は5月末日

※複数拠点で開催される自治会については限度額 36,000円

※ふれあいきいきサロンの開催補助との重複は認めない。

※地域お茶の間創造事業との重複申請は認めない。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校の間（4/14～5/6）自治会館等を活用し居場所を開設される場合は、要綱にある月1回以上の要件に関係なく『子ども食堂・学習支援の開催補助』の対象とします。

見守りネットワーク会議の開催について

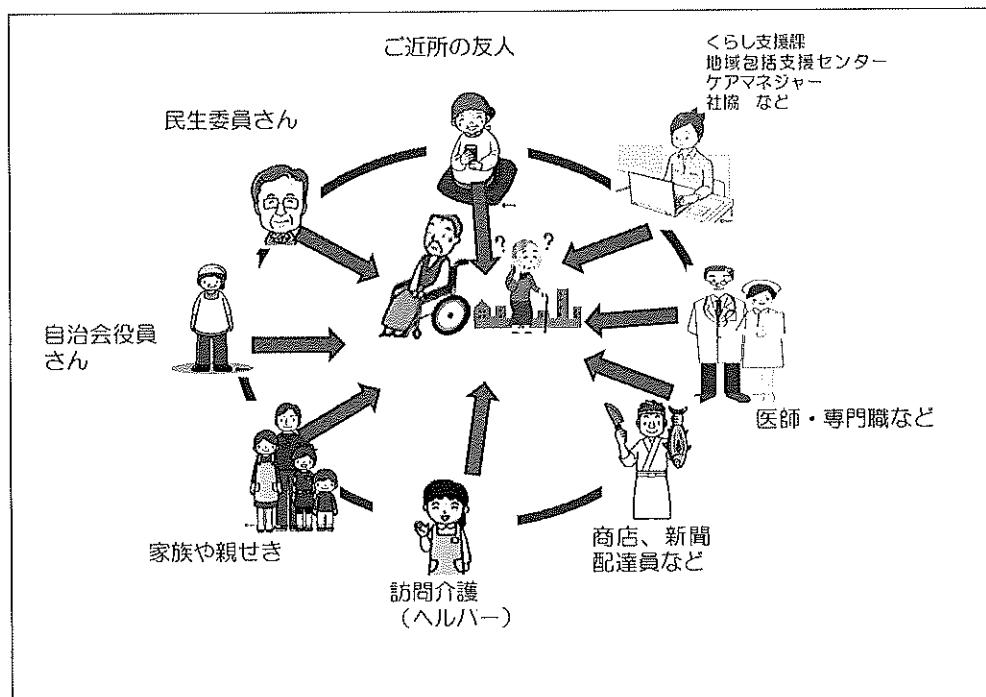
見守りネットワーク会議開催の目的

地域の状況が変化する中で、暮らしの困りごとも複雑多様化し、今後ますます見守りの必要な方が増加することが予想されます。見守りネットワーク会議は、支援を必要としている方が、孤立することなく安心して地域で生活できるようにするために、市民及び福祉関係者や福祉団体、市、社協等が参加した見守り体制の構築を目的としています。

見守りネットワーク会議とは？

見守り活動に関する連絡・連携会議として、自治会単位でテーブルを囲み、見守りが必要な世帯や気になる方について、気づいた事等を話し合い、支援方法の共有を行います。

自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員、福祉委員、福祉推進員、自治会役員、自治会の各種団体、市、社協、ケアマネジャー、事業所、地域包括支援センター、福祉関係者、福祉団体等、専門職その他、地域の状況がわかる方等が必要に応じて参加し開催します。



見守りネットワーク会議によりそれぞれの役割を確認し
・抱え込まない
・共有して関わる
支援体制の構築を行います。

見守りネットワーク会議補助金

見守りネットワーク会議を開催した回数により、限度額の範囲内において交付します。

1回2,000円（限度額20,000円） 申請書の提出期限は5月末日

※福祉懇談会と同一の会議は除きます。

見守りネットワーク会議を行う上で、注意する事

- 見守り会議で知り得た情報は口外しないことが必要です。見守り活動に関係ない情報は興味関心で聞かない、言わないなど、情報の取り扱いに関するルールをメンバー間で話し合って決めましょう。個人情報利用について口頭、書面等で同意をとっておくのもひとつ的方法です。
- 見守りや訪問を拒否される方も見放さず、そっと見守りを行いましょう

新規事業の実施補助について

新規事業の目的

新規事業は、地域の様々な福祉課題の解決に向け、自治会独自の新しい取り組みを支援し、主体的な活動を推進することを目的としています。

新規事業とは？

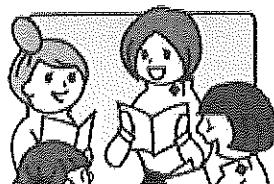
自治会が現在まで取り組んでいない新たな事業です。地域の福祉課題解決をテーマに、自治会ごとの求められる取り組みを、自治会に応じた形で進めていただきます。下記の取り組み事例以外にも自由な発想で企画してください。

新規事業例

例1

【介護予防】

- ・健康体操グループの結成・活動



毎週1回など、定期的に高齢者の介護予防にもつながる取り組みを実施

例2

【自治会の活動活性化】

- ・新たな活動団体創設や既存組織の見直し



福祉委員会など福祉活動に取り組む組織の設立・活動の実施

補助金

1年目：3団体総額50万 2年目：3団体総額25万

3年目：3団体総額15万 毎年度3団体まで（最長3年間）

総事業費の3/4を上限とします。申請書提出期限は6月末日

※福祉懇談会、見守りネットワーク会議の開催は除きます（申請後審査があります）

居場所継続支援補助について

居場所継続支援の目的

地域の大切な居場所づくりをされている団体が長く活動を継続いただけるように応援していくことを目的としています。

居場所継続支援とは？

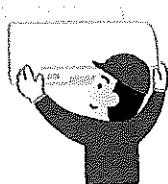
これからも居場所を継続して開催いただけるように居場所継続に必要な備品の修繕・購入に充てていただける費用について補助させていただきます。

居場所継続支援例

例1

【会場の備品購入】

- ・エアコン購入



夏の熱中症対策と冬場の寒さ対策のために故障中のエアコンを買い替え

例2

【活動に必要な備品修繕】

- ・食事、お話等に使用する机・椅子の修繕



年月が経ち居場所活動に必要な机や椅子の修繕を地元大工に依頼

補助金

採択数：毎年度5自治会まで

補助率：総事業費の3/4を上限とする。

※過去5年間居場所を毎月実施している自治会に限る。（申請後審査があります。）

※過去5年から現在まで地域お茶の間創造事業補助金を受けている自治会は除く。

限度額：5万円

補助対象：備品整備や修繕の費用

社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金交付までの流れについて

(1)

自治会・福祉会等の代表者様より、下記の書類を5月末日までに本会へご提出ください。

ただし、要綱第2条（8）新規事業の実施補助、要綱第2条（9）居場所継続支援補助を申請される方につきましては、6月末日の締切とします。それ以外は5月末日までにご提出ください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、
今年度は5月末日を過ぎてからの提出でも受付可能です。

- ・ 地域福祉活動補助金交付申請書兼請求書（様式第1号）
- ・ 事業計画書（参考様式あり）※新規事業の実施補助、居場所継続支援補助以外
- ・ 地域福祉活動補助金（新規事業の実施補助）事業計画書（様式第1号-2）
- ・ 地域福祉活動補助金（居場所継続支援補助）事業計画書（様式第1号-3）

収支予算書の提出は不要です。（※新規事業の実施補助、居場所継続支援補助は除く）

(2)



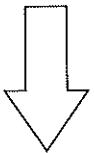
本会会長が適当と認めたときは、下記の書類により申請者に交付決定を通知後、本会より、指定口座に補助金を振り込ませていただきます（6～7月頃）。

* 新規事業の実施補助、居場所継続支援補助の申請者につきましては、6月末申請後、7月以降に決定通知を交付、指定口座に決定金額を補助金として振込させていただきます。

- ・ 地域福祉活動補助金交付決定通知（様式第2号）

平成30年度から申請書兼請求書としたため、あらためて請求書を提出する必要はありません。

(3)



申請内容に変更があった場合

当該年度の翌年3月20日までに、地域福祉活動補助金変更届出書（様式第4号）を本会まで提出してください。

事業実施の翌年度5月末日までに下記の書類を本会へご提出ください。

- ・ 地域福祉活動補助金実績報告書（様式第3号）
 - ・ 事業報告書（参考様式あり）
 - ・ 新規事業の実施補助 事業報告書（様式第3号-2）、居場所継続支援補助 事業報告書（様式第3号-3）
- ※新規事業の実施補助、居場所継続支援補助の補助申請・採択された場合のみ提出が必要です。
- ・ 写真・チラシ等その他関係書類（可能な範囲でのご提出で結構です）

収支決算書の提出は不要です。（※新規事業の実施補助、居場所継続支援補助は除く）

○○年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金交付申請書兼請求書

○○年○○月○○日

社会福祉法人米原市社会福祉協議会
会長 吉田正子様

申請者 住所 米原市○○○ ○○○番地
氏名 ○○福祉会 会長 福祉 太郎 印
(自治会名: ○○○)

○○年度において、社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助金交付要綱第5条の規定により、次の関係書類を添えて申請・請求します。

なお、補助事業の内容について本会または本会が認めた団体等が作成する広報物、ウェブサイト等での公開、関係機関へ情報提供することに同意します。

記

交付申請・請求額 金 260,500 円

「内訳」

1. 基本補助	7,500 円
2. ふれあいいきいきサロンの開催補助	(1,000円×回数) 28,000 円
3. 子ども食堂・学習支援の開催補助	(1,000円×回数) 28,000 円
4. 福祉懇談会の開催補助	3,000 円
5. 見守りネットワーク会議の開催補助	(2,000円×回数) 16,000 円
6. 避難行動要支援者参加型避難訓練の実施補助	3,000 円
7. お出かけバスの運行補助	25,000 円
8. 新規事業の実施補助	100,000 円
9. 居場所継続支援補助	50,000 円
総額	260,500 円

関係書類：事業計画書（8. 新規事業の実施補助に関しては様式第1号-2要添付）

（9. 居場所継続支援補助に関しては様式第1号-3要添付）

地域福祉活動補助金口座振込依頼書

補助金については、次の口座に振り込みを依頼します。

振込先金融機関名 (支店名)	○○銀行 ○○支店
振込先口座番号 (ふりがな)	123456789 マルマルフクシカイ カイチヨウ フクシ タロウ
振込先口座名義	○○福祉会 会長 福祉 太郎

○○年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動 事業計画書

自治会等名

○○福祉会

1. ふれあいいきいきサロンの開催

	実施日	活動内容		実施日	活動内容
1	○月○日	茶話会	13	○月○日	○○○○
2	○月○日	体操教室	14	○月○日	○○○○
3	○月○日	移動販売サロン	15	○月○日	○○○○
4	○月○日	出前講座 (介護予防)	16	○月○日	○○○○
5	○月○日	○○○○	17	○月○日	○○○○
6	○月○日	○○○○	18	○月○日	○○○○
7	○月○日	○○○○	19	○月○日	○○○○
8	○月○日	○○○○	20	○月○日	○○○○
9	○月○日	○○○○	21	○月○日	○○○○
10	○月○日	○○○○	22	○月○日	○○○○
11	○月○日	○○○○	23	○月○日	○○○○
12	○月○日	○○○○	24	○月○日	○○○○

* 複数拠点で 25 回以上計画されているところは別紙を追加してください。

記入例

2. 子ども食堂・学習支援の開催

	実施日	活動内容	参加者数		実施日	活動内容	参加者数
1	○月○日	朝食提供		13	○月○日	○○○○	
2	○月○日	夕食提供		14	○月○日	○○○○	
3	○月○日	夏休み宿題見守り		15	○月○日	○○○○	
4	○月○日	テスト勉強見守り		16	○月○日	○○○○	
5	○月○日	○○○○		17	○月○日	○○○○	
6	○月○日	○○○○		18	○月○日	○○○○	
7	○月○日	○○○○		19	○月○日	○○○○	
8	○月○日	○○○○		20	○月○日	○○○○	
9	○月○日	○○○○		21	○月○日	○○○○	
10	○月○日	○○○○		22	○月○日	○○○○	
11	○月○日	○○○○		23	○月○日	○○○○	
12	○月○日	○○○○		24	○月○日	○○○○	

* 複数拠点で 25 回以上計画されているところは別紙を追加してください。

3. 福祉懇談会の開催

実施日	参加者数	主な内容
○月○日	15名	災害時避難支援体制を活用した日常の見守り活動について

記入例

4. 見守りネットワーク会議の開催

実施日			参加者・参加機関名
1	○月○日	自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員、サロンボランティア、社協	
		主な内容	
		ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の状況について	
実施日			参加者・参加機関名
2	○月○日	自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員、サロンボランティア、社協	
		主な内容	
		ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の状況について	
実施日			参加者・参加機関名
3	○月○日	自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員、サロンボランティア、社協	
		主な内容	
		ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の状況について	
実施日			参加者・参加機関名
4	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	
		主な内容	
		〇〇〇〇〇	
実施日			参加者・参加機関名
5	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	
		主な内容	
		〇〇〇〇〇	
実施日			参加者・参加機関名
6	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	
		主な内容	
		〇〇〇〇〇	
実施日			参加者・参加機関名
7	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	
		主な内容	
		〇〇〇〇〇	

記入例

	実施日	参加者・参加機関名
8	○月○日	○○○、○○○、○○○
		主な内容
		○○○○○
	実施日	参加者・参加機関名
9	月 日	主な内容
	実施日	参加者・参加機関名
10	月 日	主な内容

5. 避難行動要支援者参加型避難訓練の実施

実施日	参加者数	主な内容
○月○日	全体 50 名 (内要支援者 6名)	要支援者ごとの避難支援プランに基づき、支援員が自治会館までの避難支援を行う。

6. お出かけバスの運行

使用する団体	○○福祉会		
実施日	借上バス種別 ※いずれかに○	乗車人数 (予定)	目的
○月○日	大型バス 中型バス 小型バス	35人	お出かけサロンで盆梅展へ行き地域住民の交流をはかる。また必要な方のために買い物ツアーを行う。

記入例

別紙

1. ふれあいきいきサロンの開催

※複数拠点で 25 回以上開催されている場合にお書きください。

	実施日	活動内容
25	○月○日	○○○○
26	○月○日	○○○○
27	○月○日	○○○○
28	○月○日	○○○○
29	月 日	
30	月 日	
31	月 日	
32	月 日	
33	月 日	
34	月 日	
35	月 日	
36	月 日	

2. 子ども食堂・学習支援の開催

※複数拠点で 25 回以上開催されている場合にお書きください。

	実施日	活動内容	参加者数
25	○月○日	○○○○	
26	○月○日	○○○○	
27	○月○日	○○○○	
28	○月○日	○○○○	
29	月 日		
30	月 日		
31	月 日		
32	月 日		
33	月 日		
34	月 日		
35	月 日		
36	月 日		

○○年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金(新規事業の実施補助) 事業計画書

■団体概要

(ふりがな) 自治会名	○○○自治会		
(ふりがな) 代表者名	ふくし 福祉	たろう 太郎	
所在地	〒 521-0000 米原市 ○○○ ○○番地	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PC): URL:	
(ふりがな) 連絡責任者名	まいはら 米原	はなこ 花子	
連絡責任者 連絡先	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-0000 米原市○○○ ○○番地	FAX: 〇〇-〇〇〇〇 E-mail(PC):	

■申請概要

事業名称	【介護予防】のサークル活動促進のための、つながりづくり活動事業 :「～の～のための～事業」のように具体的に記入してください。(35文字以内)
申請額 (申請年度分)	100,000 円

1. 背景 (今回の事業に取り組む背景について記入ください)

事業実施の背景 及び目的の必要性 (1,000文字以内)	平成〇年〇月頃までは、サークル作り活動のための補助金が、〇〇補助金としてあったがその補助金もなくなり、サークル活動自体が消滅してしまった。公民館を活用し、以前はにぎやかに、趣味や生きがいづくりのさまざまな活動を通して、つながりづくりが自然とできていたが、現在、サークル活動が消滅してしまい、つながりももちにくい状況が出てきている。サークル活動がない状態にあるので、いざというときのつながりづくりのため、サークル作りを行いたい。 さらに、高齢化もますます進行していることから、介護予防も念頭に置き、介護予防のための、サークル活動促進を図り、地域で薄れかけているつながりをとりもどすためにつながりづくり活動事業として取り組みを開始したい。
支援の対象者	65歳以上の方が対象 (特に家にひきこもりがちな男性等にも声をかけ、女性の方、男性の方両方に声掛けしていきたい)

記入例

2. 目標及び効果 (今回の事業においてめざすことについて記入ください)

事業の目標及び想定される実施効果 (1,000文字以内)	事業目標としては、サークル団体が全くない状態なので、サークル団体を3団体以上設立することで、高齢者の方の生きがいや拠り所となるよう、サークル活動の促進を計画し、実施します。実施する上で想定される実施効果としては、サークル活動が立ち上がりことで、サークルの仲間同士のつながりが生まれ、同じ趣味を楽しみしながら、つながりづくりが自然とできてくることをねらいとしています。近所同士の助け合いが、減ってきている現在において、いろんな形でのサークル活動を促進する中で、いざというときに助け合える関係づくりができるることを想定しています。
---------------------------------	---

3. 事業内容 (今回の事業で取り組む年度ごとの内容について記入ください。)

実施年度及び年度ごとの申請想定額 (□にチェック) 【※1】	<input checked="" type="checkbox"/>	令和2年度 (単年度)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和3年度 (2か年の申請)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和4年度 (3か年の申請)
実施スケジュール及び具体的な事業内容 (2,000文字以内) 【※2】		申請額 10 万円		申請想定額 10 万円		申請想定額 5 万円
令和2年 6月 ・どのようなサークル団体にするか検討し、どんなサークル団体があればよいかニーズ調査を行う（総会にて、アンケートを実施） ・出てきた意見に沿って上位3つの中の1つのサークルを抜粋し、サークル参加者を募る ・サークル人数が集まらないようであれば、口コミで、誘いかける。 8月 ・サークル団体の活動について話し合う、どのような頻度で行うと継続できるかななど皆で話し合い、月に2回第2水曜日、第4水曜日に実施を決定。 9月～2月 活動開始 3月 反省会と今後に向けての話し合い 令和3年 ・新しいサークル団体を1団体さらに実施 令和4年 ・新しいサークル団体を1団体さらに実施						

【※1】複数年度にわたる申請の場合には、年度ごとに申請想定額を記載してください。

【※2】実施スケジュールと事業内容を必ず記入してください。また、複数年度にわたる申請の場合には、事業全体の計画と当該事業年度の計画との関係がわかるように記入してください。

記入例

4. 収支予算（本年度分のみの記載）

（本年度に本補助金で取り組む事業に関する経費を記入ください）

（1）収入

科目	金額（円）	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本補助金申請額 ※1	100, 000	限度額の範囲内で希望する応募額を記入（1枚目の申請額と同額）
2. 本補助金以外の収入額 ※2 1) 自己資金 2) 補助金・助成金収入額 3) 寄付金収入額 4) その他	100, 000 100, 000 100, 000	内訳を具体的に 自治会資金から ○○財団から 自治会員から
事業費収入合計 ※3 ※3=※1+※2	400, 000	

（2）支出

科目	金額（円）	詳細
器具什器費	330, 000	パソコン、麻雀卓、ミシン
消耗品費	50, 000	プリンタインク、コピー用紙 等
保険料	10, 000	ボランティア行事用保険加入費
利用料	10, 000	自治会館への水光熱費用を自治会へ支払
事業費支出合計	400, 000	

「事業費収入合計※3」と「事業費支出合計」は同額であることを確認してください。

様式第1号—3

○○年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金(居場所継続支援補助) 事業計画書

■団体概要

(ふりがな) 自治会名	○○○自治会		
(ふりがな) 代表者名	ふくし 福祉	たろう 太郎	
所在地	〒 521-0000 米原市 ○○○ ○○番地	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PC): URL:	
(ふりがな) 連絡責任者名	まいはら 米原	はなこ 花子	
連絡責任者 連絡先	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-0000 米原市○○○ ○○番地	FAX: 〇〇-〇〇〇〇 E-mail(PC):	

■申請概要

居場所の名称	○○いきいきサロン
購入物品・ 修繕内容	エアコン
購入・修繕が 必要な理由	サロンで使用している自治会館のエアコンが古く効果が薄いため新しく購入したい。近年、夏場は熱中症にならないように注意が必要ななか、サロンで主に集まる高齢者の危険も考え整備したい。また、閉じこもりがちになる寒い冬場でのサロン開催時に空気が悪くなる灯油ストーブ以外の暖房手段としたいため。
申請額	50,000 円

収支予算 ※購入する物品、修繕する道具にかかる費用に関して収支を記入ください。

(1) 収入

科目	金額	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本補助金申請額 ※1	50,000 円	限度額の範囲内で希望する申請額を記入（1枚目の申請額と同額）
2. 本助成金以外の収入額 ※2		内訳を具体的に
1) 自己資金	円	
2) 補助金・助成金収入額	50,000 円	自治会資金から
3) 寄付金収入額	円	
4) その他	円	
事業費収入合計 ※3		
※3=※1+※2	100,000 円	

(2) 支出

科目	金額	詳細
備品購入費	80,000円	エアコン（室内機）購入
工事費	20,000円	エアコン 設置費用
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
事業費支出合計	100,000円	

「事業費収入合計※3」と「事業費支出合計」は同額であることを確認してください。

■事業概要

※過去5年間の事業報告書または取り組み状況が分かる書類を添付してください。

〇〇年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

社会福祉法人米原市社会福祉協議会
会長 吉田正子様

届出者 住 所 米原市〇〇〇 〇〇〇番地
〇〇福祉会
氏 名 会長 福祉 太郎 印
(自治会名: 〇〇〇)

〇〇年 〇〇月 〇〇日付けで決定のあった、〇〇年度における社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助金について、社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助金交付要綱第7条の規定により、変更届出書を提出します。

記

「内訳」※変更のあった項目のみ記載してください。

1. 基本補助		円
2. ふれあいきいきサロンの開催補助	(1,000円×回数)	円
3. 子ども食堂・学習支援の開催補助	追加申請の場合は、 前回申請額に追加 分を足した金額を 記入してください。 円×回数)	円
4. 福祉懇談会の開催補助		円
5. 見守りネットワーク会議の開催補助	18,000円 (×回数)	円
6. 避難行動要支援者参加型避難訓練の実施補助	-3,000円	円
7. お出かけバスの運行補助	実施出来なかった 場合は、マイナスで 記入してください。	円
8. 新規事業の実施補助		円
9. 居場所継続支援補助		円
総額	15,000円	

変更理由

見守りネットワーク会議の追加申請は、担当ケアマネジャーからの呼びかけで見守りが必要な要支援者の支援方策を考える場を設けたため
避難行動要支援者参加型避難訓練の未実施は、企画を協議した結果、まずは対象者の把握からすることになり、訓練は次年度に持ち越しを決断したため

〇〇年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会

地域福祉活動補助金実績報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

社会福祉法人米原市社会福祉協議会
会長 吉田正子様

報告者	住 所	米原市〇〇〇 〇〇番地 〇〇福祉会	印
	氏 名	会長 福祉 太郎 (自治会名： 〇〇〇)	

〇〇年〇〇月〇〇日付け米社協第〇〇〇号で交付の決定のあった〇〇年度における社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助金について、社会福祉法人米原市社会福祉協議会地域福祉活動補助金交付要綱第8条の規定により、その実績について関係書類を添えて報告します。

年度中に追加、変更
が決定交付された
場合に記入

【追加・変更決定交付分】

- 年 月 日付け米社協第
- 年 月 日付け米社協第
- 年 月 日付け米社協第

号(追加・変更)
号(追加・変更)
号(追加・変更)

関係書類

1. 事業報告書（要綱第2条（8）の事業に関しては様式第3号-2要添付）
(要綱第2条（9）の事業に関しては様式第3号-3要添付)
2. 写真、チラシ等その他関係書類

○○年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動 事業報告書

自治会等名

○○福祉会

1. ふれあいいきいきサロンの開催

	実施日	活動内容		実施日	活動内容
1	○月○日	茶話会	13	○月○日	○○○○
2	○月○日	体操教室	14	○月○日	○○○○
3	○月○日	移動販売サロン	15	○月○日	○○○○
4	○月○日	出前講座 (介護予防)	16	○月○日	○○○○
5	○月○日	○○○○	17	○月○日	○○○○
6	○月○日	○○○○	18	○月○日	○○○○
7	○月○日	○○○○	19	○月○日	○○○○
8	○月○日	○○○○	20	○月○日	○○○○
9	○月○日	○○○○	21	○月○日	○○○○
10	○月○日	○○○○	22	○月○日	○○○○
11	○月○日	○○○○	23	○月○日	○○○○
12	○月○日	○○○○	24	○月○日	○○○○

* 複数拠点で 25 回以上実施されているところは別紙を追加してください。

記入例

2. 子ども食堂・学習支援の開催

	実施日	活動内容	参加者数		実施日	活動内容	参加者数
1	○月○日	朝食提供		13	○月○日	○○○○	
2	○月○日	夕食提供		14	○月○日	○○○○	
3	○月○日	夏休み宿題見守り		15	○月○日	○○○○	
4	○月○日	テスト勉強見守り		16	○月○日	○○○○	
5	○月○日	○○○○		17	○月○日	○○○○	
6	○月○日	○○○○		18	○月○日	○○○○	
7	○月○日	○○○○		19	○月○日	○○○○	
8	○月○日	○○○○		20	○月○日	○○○○	
9	○月○日	○○○○		21	○月○日	○○○○	
10	○月○日	○○○○		22	○月○日	○○○○	
11	○月○日	○○○○		23	○月○日	○○○○	
12	○月○日	○○○○		24	○月○日	○○○○	

* 複数拠点で 25 回以上実施されているところは別紙を追加してください。

3. 福祉懇談会の開催

実施日	参加者数	主な内容
○月○日	15名	要支援者ごとの避難支援プランに基づき、支援員が自治会館までの避難支援を行ったのち、後日プラン見直しの会議を開催した。

記入例

4. 見守りネットワーク会議の開催

	実施日	参加者・参加機関名
1	○月○日	自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員、サロンボランティア、社協
		主な内容
		ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の状況について
	実施日	参加者・参加機関名
2	○月○日	自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員、サロンボランティア、社協
		主な内容
		ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の状況について
	実施日	参加者・参加機関名
3	○月○日	自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員、サロンボランティア、社協
		主な内容
		ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の状況について
	実施日	参加者・参加機関名
4	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
		主な内容
		〇〇〇〇〇
	実施日	参加者・参加機関名
5	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
		主な内容
		〇〇〇〇〇
	実施日	参加者・参加機関名
6	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
		主な内容
		〇〇〇〇〇
	実施日	参加者・参加機関名
7	○月○日	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
		主な内容
		〇〇〇〇〇

記入例

	実施日	参加者・参加機関名
8	○月○日	○○○、○○○、○○○ 主な内容 ○○○○○
	実施日	参加者・参加機関名
9	月 日	主な内容
	実施日	参加者・参加機関名
10	月 日	主な内容

5. 避難行動要支援者参加型避難訓練の実施

実施日	参加者数	主な内容
○月○日	全体 50 名 (内要支援者 6 名)	要支援者ごとの避難支援プランに基づき、支援員が自治会館までの避難支援を行った。

6. お出かけバスの運行

使用した団体	○○福祉会		
実施日	借上バス種別 ※いずれかに○	乗車人数	目的
○月○日	大型バス 中型バス 小型バス	35人	お出かけサロンで盆梅展へ行き地域住民の交流をはかる。また必要な方のために買い物ツアーを行った。

記入例

別紙

1. ふれあいいきいきサロンの開催

※複数拠点で25回以上開催されている場合にお書きください。

	実施日	活動内容
25	○月○日	○○○○
26	○月○日	○○○○
27	○月○日	○○○○
28	○月○日	○○○○
29	月 日	
30	月 日	
31	月 日	
32	月 日	
33	月 日	
34	月 日	
35	月 日	
36	月 日	

2. 子ども食堂・学習支援の開催

※複数拠点で 25 回以上開催されている場合にお書きください。

	実施日	活動内容	参加者数
25	○月○日	○○○○	
26	○月○日	○○○○	
27	○月○日	○○○○	
28	○月○日	○○○○	
29	月 日		
30	月 日		
31	月 日		
32	月 日		
33	月 日		
34	月 日		
35	月 日		
36	月 日		

○○年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金(新規事業の実施補助) 事業報告書

■団体概要

(ふりがな) 自治会名	○○○自治会		
(ふりがな) 代表者名	ふくし 福祉	たるう 太郎	
所在地	〒 521-0000 米原市 ○○○ ○○番地	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PC): URL:	
(ふりがな) 連絡責任者名	まいはら 米原	はなこ 花子	
連絡責任者 連絡先	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-0000 米原市○○○ ○○番地	FAX: 〇〇-〇〇〇〇 E-mail(PC):	

■申請概要

事業名称	【介護予防】のサークル活動促進のための、つながりづくり活動事業 :「～の～のための～事業」のように具体的に記入してください。(35文字以内)
補助決定額 (令和2年度分)	100,000 円

1. 実施内容

事業の実施内容	<p>令和2年</p> <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなサークル団体にするか検討し、どんなサークル団体があればよいかニーズ調査を実施。(総会にて、アンケートを実施) ・女性向けの編み物サークル、男性向けの麻雀サークルを希望される声が多くかったため、チラシを作成し、地域住民に呼びかけを行った。 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル団体の活動について話し合う、どのような頻度で行うと継続できるかなど皆で話し合い、月に2回第2水曜日、第4水曜日に実施を決定。 <p>9月～2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動実績：編み物サークル：12回実施、参加者延べ107人参加 　　麻雀サークル：11回実施、参加者延べ87人参加 　　上記以外に、自治会館の清掃活動を自主的に実施した（2回） <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反省会と今後に向けての話し合いを行い、健康づくりのサークルを希望される声が上がったことから、翌年度からウォーキングサークルを設立する方向で検討中。
---------	--

記入例

2. 成果・効果

事業実施による成果・効果 (1,000文字以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまであった各種団体の集まりの場面やふれあいサロンに加え、新たな住民同士の交流場面が生まれた。また、定年退職後の60代～70代の方も積極的に参加されている。 ・サークル活動の活動拠点である自治会館に対し親しみが生まれ、サークル参加者が自主的に清掃活動を実施するなど、ボランティア活動が生まれている。 ・連絡網を整備し、欠席者には連絡を入れ様子を伺うなど見守りの意識が生まれている。
-----------------------------	--

3. 今後の予定 (申請時に複数年度で事業実施を予定していた自治会のみ記入ください。)

実施年度及び年度ごとの申請想定額 (□にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 (2か年の申請)	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度 (3か年の申請)
実施スケジュール及び具体的な事業内容 (2,000文字以内)	申請想定額 10 万円	申請想定額 5 万円
令和3年 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいサークル団体を1団体さらに実施 ・隣接するあさがお自治会に対しても参加呼びかけを広げる 令和4年 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいサークル団体を1団体さらに実施 <p>【※1】</p>		

【※1】実施スケジュールと事業内容を必ず記入してください。また、複数年度にわたる申請の場合には、事業全体の計画と当該事業年度の計画との関係がわかるように記入してください。

記入例

4. 収支報告（本年度分のみの記載）

（本年度分の本補助で取り組んだ事業に関する経費を記入ください）

（1）収入

科目	金額（円）	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本補助金 ※1	100,000	交付決定を受けた額を記入（1枚目の応募額と同額）
2. 本補助金以外の収入額 ※2		内訳を具体的に
1) 自己資金	100,000	自治会資金から
2) 補助金・助成金収入額	100,000	○○財団から
3) 寄付金収入額	100,000	自治会員から
4) その他		
事業費収入合計 ※3 ※3=※1+※2	400,000	

（2）支出

科目	金額（円）	詳細
器具什器費	330,000	パソコン、麻雀卓、ミシン
消耗品費	50,000	プリンタインク、コピー用紙 等
保険料	10,000	ボランティア行事用保険加入費
利用料	10,000	自治会館への水光熱費用を自治会へ支払
事業費支出合計	400,000	

「事業費収入合計※3」と「事業費支出合計」は同額であることを確認してください。

**〇〇年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
地域福祉活動補助金(居場所継続支援補助) 事業報告書**

■団体概要

(ふりがな) 自治会名	〇〇〇自治会			
(ふりがな) 代表者名	ふくし たろう 福祉 太郎			
所在地	〒 521-0000 米原市 〇〇〇 〇〇番地	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PC): URL:		
(ふりがな) 連絡責任者名	まいはら はなこ 米原 花子			
連絡責任者 連絡先	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-0000 米原市〇〇〇 〇〇番地	FAX: 〇〇-〇〇〇〇 E-mail(PC):		

■申請概要

居場所の名称	〇〇いきいきサロン
購入物品・ 修繕内容	エアコン
補助決定額	50,000 円

1. 成果・効果

購入物品、 修繕による 成果・効果	エアコンを購入したことによって、熱中症対策になり、安心して夏場のサロンに呼びかけすることができ、快適に過ごすことができた。また、寒い冬場のサロンも灯油ストーブと違い、空気が悪くならないため、居心地のよいサロンを開催することができた。
-------------------------	--

2. 収支報告

(本補助金で購入・修繕した物に関する経費を記入ください)

(1) 収入

科目	金額	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本補助金額 ※1	50,000 円	交付決定を受けた額を記入 (1枚目の補助額と同額)
2. 本補助金以外の収入額 ※2		内訳を具体的に
1) 自己資金	円	
2) 補助金・助成金収入額	50,000 円	自治会資金から
3) 寄付金収入額	円	
4) その他	円	
事業費収入合計 ※3		
※3=※1+※2	100,000 円	

(2) 支出

科目	金額	詳細
備品購入費	80,000 円	エアコン（室内機）購入
工事費	20,000 円	エアコン 設置費用
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
事業費支出合計	100,000 円	

「事業費収入合計※3」と「事業費支出合計」は同額であることを確認してください。

社会福祉法人米原市社会福祉協議会
まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付要綱

(目的)

第1条 社会福祉法人米原市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、自治会、福祉事業所、社会福祉法人、NPO、ボランティアグループ、学校、企業、個人等（以下「団体等」という。）が協働し、米原市における多様な福祉課題を解決するために、広域的な取り組みや様々な団体等との協働により取り組む事業の経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

(交付の対象)

第2条 この補助金は次に掲げる（1）～（4）に該当する米原市内における地域福祉を推進する事業等に対し交付するものとする。

- (1) 2団体以上がそれぞれの団体の役割を發揮しながら協働する事業
- (2) (1)の協働する構成団体のうち1団体以上が米原市内に拠点を持つ団体が取り組む事業
- (3) (1)の協働する構成団体に学校、企業、個人がある場合は、他の構成団体はそれ以外である事業
- (4) その他、本会会長が適当と認めた事業等

(補助対象期間)

第3条 この補助は、当該年度の4月1日から3月31日の間に実施する活動を対象とする。

(補助金の金額)

第4条 補助金の金額は年間50万円、3年間で総額100万円を上限とする。ただし、総事業費の3／4を上限とする。

(補助金交付申請及び請求)

第5条 補助金を受けようとする団体等の代表者は、社会福祉法人米原市社会福祉協議会まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付申請書兼請求書（様式第1号）に次に掲げる（1）～（3）の書類を添えて、事業当該年度の6月末日までに本会会長に提出するものとする。

- (1) 事業計画書（様式第1号－2）
- (2) 会則・規約など
- (3) 役員・グループ員名簿

(補助金の交付決定及び通知)

第6条 本会は、前条の申請があった場合においては、本会において以下の項目を勘案し、当該申請書の審査及び必要に応じて調査等を行い、適当と認めたときは、まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付決定通知書（様式第2号）により通知するものとする。

- (1) 地域福祉の課題を解決するモデルとして他の地域や団体等に広がる可能性（波及効果）
- (2) 補助金を受けた期間後も活動が発展的に続く可能性（継続性）

(3) 社会福祉向上のため、既存の活動以外に新しい活動を展開しようとしているもの。

2 本会会長は、補助金の交付の目的を達成するため必要があると認めるときは、概算払いにより交付することができる。

(変更の届出)

第7条 補助金を受ける団体等の代表者は、次の各号のいずれかに該当する場合には、速やかにまいばらコラボチャレンジ事業補助金変更届出書（様式第4号）を本会に提出し、本会会長の指示を受けなければならない。

- (1) 事業の内容を変更（軽微な変更を除く。）する場合
- (2) 事業の中止、又は廃止する場合
- (3) 事業が予定の期間内に完了しない場合又は事業の遂行が困難となった場合

(事業実績報告書の提出)

第8条 補助金事業が完了したときは、社会福祉法人米原市社会福祉協議会まいばらコラボチャレンジ事業補助金実績報告書（様式第3号）に次に掲げる（1）～（2）の書類を添えて、事業実施年度の翌年度の5月末日までに、本会会長に提出するものとする。

- (1) 事業報告書（様式3号－2）
- (2) その他、活動の内容がわかる資料（発行物・写真など）

(事業内容の公開)

第9条 本会会長は、補助事業の内容について、本会または本会が認める団体が作成する広報物、ウェブサイト等で公開するほか、本会会長が適当と認めた関係機関へ情報提供することができる。

付則 この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

まいばらコラボチャレンジ事業の補助金について

社会福祉法人米原市社会福祉協議会

事業の目的

地域の様々な福祉課題の解決に向けた活動を行う者同士がつながるきっかけとなり、互いの強みを活かしながら協働して取り組む福祉活動を応援することを目的としています。

対象となる主体

自治会、福祉事業所、社会福祉法人、NPO、ボランティアグループ、学校、企業、個人等、福祉活動を推進するあらゆる主体が対象となり、それぞれが協力し合う活動に対し助成します。

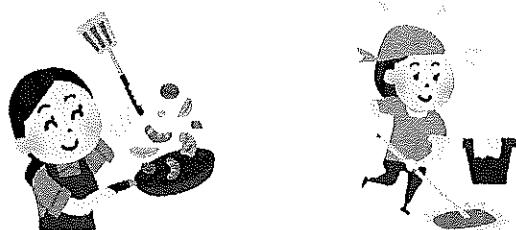
協働の活動例

事例1

【広域の生活支援サービスを開発する】

まちづくり団体×まちづくり団体

共通の課題を持つ団体同士が、先進地視察を合同で行い、新たな広域の生活支援サービスの企画・実施につなげる。

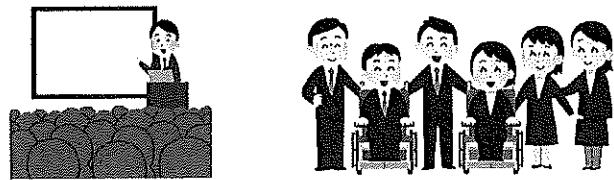


事例3

【障がい者理解のための学習会を開催する】

当事者団体×社会福祉法人

地域の福祉理解が深まるよう当事者団体や障がい分野の福祉施設が協働して住民対象の学習会を開催する。



活動補助金

1つの活動につき年間最大50万円、3年で総額100万円を上限に助成します。

補助金額は、総活動費の3/4を上限とします。申請書提出期限は6月末日（申請後、審査があります）

ご連絡・お問合せ先 お近くの各地域福祉活動センターまで気軽にお問合せください。

○米原地域福祉活動センター ○山東地域福祉活動センター ○伊吹地域福祉活動センター ○近江地域福祉活動センター

滋賀県米原市三吉 570

滋賀県米原市志賀谷 1907

滋賀県米原市春照 56

滋賀県米原市顔戸 21-2

電話:0749-54-3105

電話:0749-55-3933

電話:0749-58-1770

電話:0749-52-1463

〇〇年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付申請書兼請求書

〇年 〇月 〇日

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会
会長 吉田 正子 様

申請者（団体・グループ名）

〇〇福祉会
代表者氏名 会長 福祉 太郎 印

〇〇年度において、社会福祉法人米原市社会福祉協議会まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付について、社会福祉法人米原市社会福祉協議会まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付要綱第5条に基づき、次の関係書類を添えて申請します。

〇〇年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付申請額

200,000 円

関係書類：事業計画書（様式1号－2）、会則・規約、役員・グループ員名簿 等

まいばらコラボチャレンジ事業補助金口座振込依頼書

補助金については、次の口座に振り込みを依頼します。

振込先金融機関名 (支店名)	〇〇銀行 〇〇支店
振込先口座番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9
(ふりがな) 振込先口座名義	マルマルフクシカイ カイチョウ フクシ タロウ 〇〇福祉会 会長 福祉 太郎

様式第1号-2

○○年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
まいばらコラボチャレンジ事業計画書

■代表団体概要 (協働事業に取り組む団体のなかで代表する団体について記入ください。)

(ふりがな) 団体名 ※1	○○自治会		
代表者名	役職名 自治会長	氏名(ふりがな) ふくし たろう 福祉 太郎	
所在地	〒 521-0000 米原市 〇〇〇 〇〇〇番地	TEL: ○○-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PCまたは携帯): URL:	
連絡責任者名	役職名 福祉委員長	氏名(ふりがな) まいばら はなこ 米原 花子	
連絡責任者 連絡先	TEL: ○○-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-0000 米原市〇〇〇 〇〇番地	FAX: ○○-〇〇〇〇 E-mail(PC):	
設立時期 (西暦表記)	19〇〇年 〇月 (任意団体から法人格を取得した場合は、任意団体の設立時期を記入してください)	前年度の総支出額 () 円 前年度の収入総額 () 円 前年度の寄付収入額 () 円	
団体の目的と 事業内容 (過去5年間の 取り組み)	○○地域の地域づくりを目的に活動しています。○○自治会に設置する○○福祉委員会では、〇年から公民館を活用した地域の居場所の開設や、見守り訪問活動を行い、〇年からは、住民のちょっとした困りごとのお手伝いをする生活支援ボランティア事業も行っています。		

■協働団体概要 (複数の協働団体がある場合は、別紙で下記内容と同様のものを提出してください。)

(ふりがな) 団体名 ※1	社会福祉法人○○会 デイサービスセンター△△		
代表者名	役職名 理事長	氏名(ふりがな) みしま いけこ 三島 池子	
所在地	〒 521-0000 米原市 〇〇〇 〇〇〇番地	TEL: ○○-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PCまたは携帯): URL:	
連絡責任者名	役職名 副施設長 (ボランティア係)	氏名(ふりがな) いぶき やまお 伊吹 山男	
連絡責任者 連絡先	TEL: ○○-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-0000 米原市〇〇〇 〇〇番地	FAX: ○○-〇〇〇〇 E-mail(PC): ○〇〇〇@○○. com	
設立時期 (西暦表記)	20〇〇年 〇月 (任意団体から法人格を取得した場合は、任意団体の設立時期を記入してください)	前年度の総支出額 (123,456,789) 円 前年度の収入総額 (124,612,461) 円 前年度の寄付収入額 (5,678,900) 円	
団体の目的と 事業内容 (過去5年間の 取り組み)	社会福祉法人○○会は、地域に根差した福祉事業所を目指し、デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、ケアプランセンターを運営しています。これまで地域交流室を地域住民の皆様に使っていただけるように、認知症カフェの開催や地域のボランティア活動室として開放してきました。		

※1 法人格のある団体は法人名からお書きください。 例) 社会福祉法人○○会 デイサービスセンター△△、株式会社○○商店 □□支店

■ 申請概要

事業名称	買い物支援のための移動販売をきっかけとした地域の居場所づくり事業 :「～の～のための～事業」のように具体的に記入してください。(35 文字以内)
------	---

1. 背景 (今回、協働して事業を行うことになった背景について記入ください。)

事業実施の背景及び目的の必要性 (1,000 文字以内)	○○自治会は、高齢化率が〇%と高く一人暮らし高齢者も増えています。一方で近隣の商店が閉店し、○○自治会の移動が難しい高齢者の買い物問題が出てきました。そこで社会福祉協議会に相談し、移動販売事業者の調整を行っていただくことにしましたが、○○自治会内にある社会福祉法人○○会が、地域交流室を開放していると聞き、移動販売の停留所として活用できないかと模索しました。せっかくなら移動販売だけではなく、それをきっかけにして集まった人たちが一息ついてお茶を飲みながら交流できる場や、福祉施設といて介護予防の教室ができないかなど企画が持ち上がりました。そこで、3者で企画会議を行い、これから高齢化が進みゆく中で、様々な問題をつながりで解決する必要性を感じ、買い物をきっかけにした地域に住む誰もがつながれる場づくりをしていくこととして、今回の事業を実施することにいたりました。
支援の対象者	○○自治会の地域住民が対象（特に、移動が難しく、家に閉じこもりがちなお年寄りに声をかけていきたい。）

2. 目標及び効果 (今回の事業においてめざすことについて記入ください。)

事業の目標及び想定される実施効果 (1,000 文字以内)	事業目標としては、買い物ができる場所が徒歩圏内に全くない状態なので、○○商店さんの移動販売を週に1度定期的に実施します。また、移動販売の時間帯に合わせて、福祉事業所でのお茶飲みの場としてのカフェの開設につなげながら介護予防につながる体操などの企画を実施します。これらの取り組みのなかで、これまで人との交流が少なかった閉じこもりがちのお年寄りが参加し、見守りを兼ねた居場所となることを想定しています。
----------------------------------	---

3. 事業内容（今回の事業で取り組む年度ごとの内容について記入ください。）

実施年度及び 年度ごとの 申請想定額 (□にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和2 年度 (単年度)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和3 年度 (2か年の申請)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和4 年度 (3か年の申請)
	申請額 20 万円	申請想定額 30 万円	申請想定額 20 万円			
実施スケジュー ル及び具体的な 事業内容 (2,000文字以内)	<p>令和2年度</p> <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○自治会の総会において、移動販売で購入したい商品、場所、時間帯などニーズをアンケートで調査する。 社会福祉法人○○会の地域交流室を販売場所として活用するため、3者で待合のベンチや看板など、スペースの検討を行う。 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動販売のプレ開催のためのチラシを作成し○○自治会で広報活動を行う。 参加してくれた方から意見を聞いて見直しをはかる。 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動販売の開始（週1第1金曜日） <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 3者で反省会をして次年度以降の企画について検討する。 					
	<p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動販売に合わせたカフェを併設する。 					
	<p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動販売に合わせた福祉施設職員による介護予防教室を開催する。 					

4. 収支予算（本年度分のみ記載）

（本年度に本補助金で取り組む事業に関する経費を記入ください）

（1）収入

科目	金額	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本補助金申請額 ※A	200,000円	限度額の範囲内で希望する申請額を記入（3枚目の申請額と同額）
2. 本補助金以外の収入額 ※B		内訳を具体的に
1) 自己資金	50,000円	福祉募金より
2) 補助金・助成金収入額	70,000円	自治会より
3) 寄付金収入額	30,000円	自治会員より
4) その他	円	
事業費収入合計 ※C ※C=※A+※B	350,000円	

（2）支出

科目	金額	詳細
器具什器費	300,000円	室内用机・イス、冷蔵庫、ベンチ、日よけ小屋材料
消耗品費	50,000円	プリンターインク、コピー用紙 等
	円	
	円	
	円	
	円	
事業費支出合計	350,000円	

「事業費収入合計※C」と「事業費支出合計」は同額であることを確認してください。

別紙(事業計画用)

■協働団体概要

(ふりがな) 団体名 ※1	株式会社○○商店		
代表者名	役職名 代表取締役社長	氏名(ふりがな) あねがわ きよこ 姉川 清子	
所在地	〒 521-0000 米原市 ○○○ ○○○番地	TEL:	00-0000
		携帯:	000-0000-0000
		FAX:	
		E-mail(PCまたは携帯):	
URL:			
連絡責任者名	役職名 社会貢献事業部門長	氏名(ふりがな) さめがい よしこ 醒ヶ井 好子	
連絡責任者 連絡先	TEL: 00-0000 携帯: 000-0000-0000 〒 521-0000 米原市○○○ ○○番地	FAX: 00-0000 E-mail(PC): ○○○○@○○. com	
設立時期 (西暦表記)	2000年 〇月 (任意団体から法人格を取得した場合は、任意団体の設立時期を記入してください)	前年度の総支出額 (123,456,789) 円 前年度の収入総額 (124,612,461) 円 前年度の寄付収入額 (0) 円	
団体の目的と 事業内容 (過去5年間の 取り組み)	○年創業以来、地域に根差したスーパーの経営をしてきました。地域に貢献できるようはじめた○○商店バスのスーパー送り迎え事業にも取り組んできましたが、これからは地域に出向いて丁寧な販売をと移動販売を〇年から開始しています。		

■協働団体概要

(ふりがな) 団体名 ※1			
代表者名	役職名	氏名(ふりがな)	
所在地	〒 一	TEL:	
		携帯:	
		FAX:	
		E-mail(PCまたは携帯):	
		URL:	
連絡責任者名	役職名	氏名(ふりがな)	
連絡責任者 連絡先	TEL:	FAX:	
	携帯:	E-mail(PC):	
	〒 一		
設立時期 (西暦表記)	年 月 (任意団体から法人格を取得した場合は、任意団体の設立時期を記入してください)	前年度の総支出額 () 円 前年度の収入総額 () 円 前年度の寄付収入額 () 円	
団体の目的と 事業内容 (過去5年間の 取り組み)			

※1 法人格のある団体は法人名からお書きください。 例) 社会福祉法人○○会 デイサービスセンター△△、株式会社○○商店 □□支店

〇〇年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付にかかる実績報告書

〇年〇月〇日

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会
会長 吉田 正子 様

報告者（グループ名）

〇〇福祉会
代表者氏名 会長 福祉 太郎 印

〇年〇月〇日付け、米社協第〇号で交付決定のあった社会福祉法人米原市社会福祉協議会まいばらコラボチャレンジ事業補助金について、交付要綱第8条に基づき、次の関係書類を添えて報告します。

〇〇年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会
まいばらコラボチャレンジ事業補助金交付決定額

200,000 円

関係書類

1. 事業報告書（様式3号－2）
2. その他、活動の内容がわかる資料（発行物・写真など）

様式第3号-2

〇〇年度社会福祉法人米原市社会福祉協議会 まいばらコラボチャレンジ事業報告書

■代表団体概要 (協働事業に取り組む団体のなかで代表する団体について記入ください。)

(ふりがな) 団体名 ※ 1	〇〇自治会		
代表者名	役職名 自治会長	氏名(ふりがな) ふくし たろう 福祉 太郎	
所在地	〒 521-〇〇〇〇 米原市 〇〇〇 〇〇〇番地	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PCまたは携帯): URL:	
連絡責任者名	役職名 福祉委員長	氏名(ふりがな) まいばら はなこ 米原 花子	
連絡責任者 連絡先	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-〇〇〇〇 米原市〇〇〇 〇〇番地	FAX: 〇〇-〇〇〇〇 E-mail(PC):	

■協働団体概要 (複数の協働団体がある場合は、別紙で下記内容と同様のものを提出してください。)

(ふりがな) 団体名 ※ 1	社会福祉法人〇〇会 デイサービスセンター△△		
代表者名	役職名 理事長	氏名(ふりがな) みしま いけこ 三島 池子	
所在地	〒 521-〇〇〇〇 米原市 〇〇〇 〇〇〇番地	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: E-mail(PCまたは携帯): URL:	
連絡責任者名	役職名 副施設長 (ボランティア担当)	氏名(ふりがな) いぶき やまお 伊吹 山男	
連絡責任者 連絡先	TEL: 〇〇-〇〇〇〇 携帯: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〒 521-〇〇〇〇 米原市〇〇〇 〇〇番地	FAX: 〇〇-〇〇〇〇 E-mail(PC): 〇〇〇〇@〇〇. com	

※ 1 法人格のある団体は法人名からお書きください。 例) 社会福祉法人〇〇会 デイサービスセンター△△、株式会社〇〇商店 □□支店

■申請概要

事業名称	買い物支援のための移動販売をきっかけとした地域の居場所づくり事業 :「～の～のための～事業」のように具体的に記入してください。(35文字以内)
補助決定額 (令和2年度分)	200,000円

1. 実施内容

事業の実施内容	令和2年度 6月 ・〇〇自治会の総会において、移動販売で購入したい商品、場所、時間帯などのニーズをアンケートで調査した。結果、週に1回の頻度で第1金曜日に開催してほしい声が多いことがわかった。商品としては食料品の希望が多かった。 ・3者で社会福祉法人〇〇会の地域交流室を販売場所として活用するため、待合のベンチや看板などを検討した。ベンチは地域の木工ボランティアの方に作成してもらい、ベンチの絵と看板は地域の中学生に書いてもらうことにした。施設利用者や車いす利用者が通れるように販売スペースを調整した。
	8月 ・移動販売のプレ開催をチラシ作成し〇〇自治会に広報した。 ・3者で見直し会議を開催した。反省点として、自治会が事前に放送で呼びかけをしないと高齢者は日を忘れてしまわれることが多いということがわかったのでこれからは放送を開催直前に入れることにした。 9月 ・移動販売を開始した。(週1第1金曜日) 参加者延べ 123人、開催回数 28回、売上 34万円 3月 ・3者で反省会をして見直しを行い、次年度以降の企画について検討会議を行った。 参加者の声として、生活雑貨も取り扱ってほしいという声があり、施設職員が注文を聞いてお店に連絡するという聞き取りサービスの検討を行うことになった。また施設として待合を利用しカフェの検討も合わせて行うため自治会に近いうちにニーズ調査のアンケートを行うことになった。

2. 成果・効果

事業実施による 成果・効果 (1,000文字以内)	<ul style="list-style-type: none"> これまであったサロンなど地域の交流の場に来られなかった方が買い物を理由に出てこられるようになった。また買い物を通じてこられた方と交流を持たれるなど2次的な効果も出ている。 買い物がこれまで自身でできなかつた高齢者が自分でできるようになり、生活に生きがいを見つけられるとともに、お金の計算などを自身ですることで介護予防につながっている。 施設を移動販売の拠点として開催することで、これまで地域住民と接点が少なかつた施設と交流する機会が増えた。 商店として、地域の信頼を得ながら移動販売を行うことができている。

3. 今後の予定 (申請時に複数年度で事業実施を予定していた場合のみ記入ください。)

実施年度及び 年度ごとの 申請想定額 (□にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和3 年度 (2か年の申請)	<input checked="" type="checkbox"/>	令和4 年度 (3か年の申請)
	申請想定額	30 万円	申請想定額	20 万円
令和3 年度		<ul style="list-style-type: none"> 移動販売に合わせたカフェを併設する。 高齢者や障がい者などが利用しやすいように段差をなくしたり施設をバリアフリー化。 外から入りやすいようにスロープを設置。何かあったときのために車いすを常設するために購入し、安心なカフェの整備をする。 		
令和4 年度		<ul style="list-style-type: none"> 移動販売に合わせた福祉施設職員による介護予防教室を開催する。 介護予防教室を施設の地域交流室を使って開催したい。最初は施設職員が講師となって開催し、ゆくゆくは定期的に体操の専門的な講師を呼んで地域の方が自分でサークル活動ができるように教えてもらえるようにする。 		

4. 収支報告（本年度分のみの記載）

（本年度に本補助金で取り組んだ事業に関する経費を記入ください。）

（1）収入

科目	金額	詳細（内容・単価×個数など）
1. 本補助金申請額 ※A	200,000円	交付決定補助額を記入
2. 本補助金以外の収入額 ※B 1) 自己資金 2) 補助金・助成金収入額 3) 寄付金収入額 4) その他	50,000円 70,000円 30,000円 円	内訳を具体的に 福祉募金より 自治会より 自治会員より
事業費収入合計 ※C ※C=※A+※B	350,000円	

（2）支出

科目	金額	詳細
器具什器費	300,000円	室内用机・イス、冷蔵庫、ベンチ、日よけ小屋材料
消耗品費	50,000円	プリンターインク、コピー用紙 等
	円	
	円	
	円	
	円	
事業費支出合計	350,000円	

「事業費収入合計※C」と「事業費支出合計」は同額であることを確認してください。

別紙(事業報告用)

■協働団体概要

(ふりがな) 団体名 ※1	株式会社○○商店		
代表者名	役職名 代表取締役社長	氏名(ふりがな) あねがわ きよこ 姉川 清子	
所在地	〒521-0000 米原市 ○○○ ○○○番地	TEL:	○○-○○○○
		携帯:	○○○-○○○○-○○○○
		FAX:	
		E-mail(PCまたは携帯):	
URL:			
連絡責任者名	役職名 社会貢献事業部門長	氏名(ふりがな) さめがい よしこ 醒ヶ井 好子	
連絡責任者 連絡先	TEL: ○○-○○○○	FAX: ○○-○○○○	
	携帯: ○○○-○○○○-○○○○	E-mail(PC): ○○○○@○○.com	
	〒521-0000 米原市○○○ ○○番地		

(ふりがな) 団体名 ※1			
代表者名	役職名	氏名(ふりがな)	
所在地	〒 —	TEL:	
		携帯:	
		FAX:	
		E-mail(PCまたは携帯):	
URL:			
連絡責任者名	役職名	氏名(ふりがな)	
連絡責任者 連絡先	TEL:	FAX:	
	携帯:	E-mail(PC):	
	〒 —		

※1 法人格のある団体は法人名からお書きください。 例) 社会福祉法人○○会 デイサービスセンター△△、株式会社○○商店 □□支店

福祉車両、貸し出します！

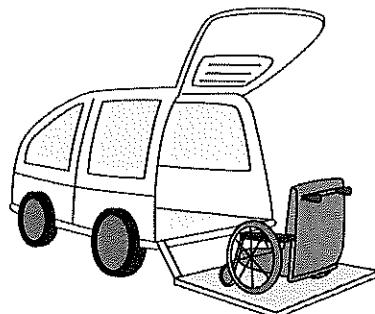
【事業内容】

車いす等を利用する方やその付添者が、病院や公共機関、リフレッシュ等を目的とした外出時に、家族または住民組織や福祉活動団体が社会福祉協議会の保有する福祉車両を借り受け、自助・互助による移送支援の推進を図るもので

貸出は、原則として1か月あたり4日までとなります。利用料は無料ですが、ガソリン代や有料道路料金等は自己負担となります。ガソリンを満タンにし、社内の清掃後、ご返却ください。

貸出車両の種類及び乗車定員

- ①軽自動車タイプ：スロープ付き：3人乗り
- ②普通自動車タイプ：リフト付き：7～9人乗り



【予約方法及び貸出方法】

- 1 電話または窓口で利用希望日の空き状況を確認してください。
※予約の受付は、利用希望日の2ヶ月前から3日前までとなります。
- 2 利用3日前までに本会窓口へ指定申請書に運転者の運転免許証の写しを添え提出してください。申請受付後、本会から貸出承認通知書を発行します。
- 3 利用当日、貸出承認通知を持って貸出し希望の事務所へお越しください。
※利用希望日が本会事務所閉館日の場合は、前日の営業時間内に貸出、閉館日翌日に返却手続きをお願いします。
- 4 車両使用後は、車両の鍵、運行日誌、給油状況のわかる領収書、報告書を事務所へ提出してください。

【問合せ先】

社会福祉法人米原市社会福祉協議会 各地域福祉活動センター

山東地域福祉活動センター 米原市志賀谷1907番地

電話／FAX：55-3933

伊吹地域福祉活動センター 米原市春照54番地

電話：58-1770 FAX：58-2231

米原地域福祉活動センター 米原市三吉570番地

電話：54-3110 FAX：54-3115

近江地域福祉活動センター 米原市顔戸21番地2

電話：52-4393 FAX：52-8051

受付・貸出・返却時間：月曜日～土曜日 午前8時30分から午後5時30分まで

※日曜祝日および年末年始（12月29日～1月3日）を除く
(山東地域福祉活動センターのみ閉館のため土曜の受付は行いません)

福祉車両貸出事業利用にあたっての留意事項

【ガソリンについて】

返却前には、なるべく本会事務所に近いガソリンスタンドで給油を行い、満量での返却をお願いします。（返却時にガソリン代の領収書をご持参ください。）

※走行距離が短く、給油ができない場合は、実費負担額を計算しますので、事務所での支払いをお願いします。

【禁煙】

貸出車両はすべて禁煙です。車内での喫煙はご遠慮ください。

【運行日誌の記入】

車内に設置している運行日誌の記入をお願いします。

【高齢者マークについて】

70歳以上の運転者に関しては、高齢者マーク表示に努力義務があります。必要に応じ車載の高齢者マークを車両の前後に貼り付けてください。

○車両使用にあたっては、申請書に記載した内容以外で使用しないでください。

○申請書に記載した運転者以外の使用、第三者へ転貸をしないでください。

○道路交通法等の法令を守り、交通事故防止に努めてください。

【事故・故障時の対応】

○報告

自己または故障が発生した時は、速やかにその状況を米原市社会福祉協議会へ報告してください。また、事故による負傷者がいる場合は、警察ならびに関係機関へ連絡し、必要な措置を行ってください。

緊急連絡先

社会福祉法人米原市社会福祉協議会 法人本部

業務時間：月曜日～土曜日 午前8時30分から午後5時30分まで

休業日：日曜および年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

電話：0749-54-3105

※業務時間外の場合の連絡先：090-7490-9743 ※本会公務携帯

【緊急連絡先が繋がらない場合】

滋賀県共済協同組合

電話：0120-182-199（平日（午前9時から午後5時まで））

電話：0120-258-340（平日夜間（上記以外の時間帯）・土日祝）

○賠償責任

貸出した車両に係る事故に伴う損害については、本会が契約している自動車損害賠償責任保険及び任意保険による対応を行いますが、保険で対応できない損害については自己負担となります。

社会福祉法人米原市社会福祉協議会貸し出し備品一覧表（令和2年4月1日現在）

項目	備品名	合計数量	配備場所・数量		
			愛らんど	ゆめ	やすらぎ
映像・音響	DVDデッキ	1			1
	スクリーン	3		1	大1小1
	プロジェクター	2		1	1
	ワイヤレスマイク付アンプ	2		1	1
什器	臼	1			1
	大なべ	6	2	1	3
	折りたたみベンチ	18	18		
	かき氷器	電6手1	1	2	電3手1
	杵（大人用① 子ども用①）	2			2
	クイックテント	2		2	
	クーラーボックス	6		4	2
	クーラーポット	大2小1			大2小1
	五升炊き炊飯器（ガス別）	2		2	
	五徳	5		3	2
	外用イス（パイプいす）	23		13	10
	たこ焼き器	1		1	
	鉄板	大3中6小1		中6	大3・小1
	展示パネル	20		20	
	テント（イベント用）大3・中2・小2	7		7	
	長机（外用） 大16・小2	18		8	10
	バーベキュー用ドラム缶	4			4
	ホットプレート	2	2		
娯楽用具	ポップコーン器	8	1	3	4
	みたらし器	2		2	
	焼き芋器	1		1	
	綿菓子器	7	2	2	3
	保温ジャー	2			2
	囲碁	8			8
	囲碁ボール	2	1		1
	絵あわせ	4	2	2	
	オセロ	4		2	2
	お手玉	300			300
	折りたたみ輪投げ	1		1	
	カロム	12	4	3	5
	キーボード	1	1		
	巨大サイコロ	3	3		
	巨大ボーリングセット	1	1		

項目	備品名	合計数量	配備場所・数量		
			愛らんど	ゆめ	やすらぎ
娯楽用具	グランドゴルフセット(スティック・ボール)	8			8
	グランドゴルフホールセット	2			2
	けん玉	30			30
	紅白大玉	白2赤1			白2赤1
	紅白幕	2		1	1
	子ども用おもちゃ各種	多数			多数
	こま	40			40
	魚つりゲーム	1			1
	皿回し	33	26	7	
	サンタクロース衣装	10		4	6
	シーツ玉入れ	2		2	
	室内グランドゴルフ	1		1	
	室内用ペタンク	2			2
	集中カゲーム	1			1
	将棋	4			4
	スカットボール	1	1		
	たいこ相撲	1		1	
	玉入れセット	2	1		1
	だるまおとし	3	3		
	ドキドキトッピング	1	1		
	トナカイ衣装	1		1	
	ビーンボーリング	2			2
	bingoゲーム機	4	1	1	2
	福笑い	1	1		
	ペタンク	5			5
	まきまきダービー	1			1
	もぐらたたき	2	1		1
	野菜玉	3ケース			3ケース
	ゆらゆらボール	1	1		
	bingoボール	2			2
	輪投げ	10	2		8

備品貸出注意事項

①予約については、備品を使用する日の属する月の3ヶ月前の1日から受付を開始します（先着順）
(例：9月15日に綿菓子機を使いたい場合は6月1日より受付)

※ただし、8月分の貸し出しについては、5月1日より5月9日（第2土曜日）までを受付期間とし、利
用希望の日・時間が重なった時には、希望者参加のもと、5月16日（第3土曜日）に抽選を行ないま
す。

②必ず申請書の提出をお願いします。

（申請書は、山東：山東地域福祉活動センター（旧山東生涯学習センター）、伊吹：愛らんど、米原：ゆ
めホール、近江：やすらぎハウスの各施設内社会福祉協議会事務所にあります。申請書の提出をもって受
付とさせていただきます。山東地域福祉活動センター以外は土曜日も受付をしています。）

みんなでごはん会

自治会館や自宅を会場にして、地域住民同士が集まり、食事をとりながら交流・つながりを深める会食会です。最初の5回は会場準備や食事の注文方法などを社協職員がお手伝いし、以降は自主的に継続して実施できるようサポートします。

*みんなでごはん会の流れ（例）

- ① 事業実施のご相談受付



- ② 自治会長様から全戸にチラシを回覧または配布いただき、参加募集の周知



- ③ 社協で参加とりまとめののち、参加者へ連絡・日程調整後、第1回の開催日を決定



- ④ 社協から自治会長様、民生委員・児童委員様に連絡し、自治会館を予約
当日の会場開閉について確認



- ⑤ 第1回を開催し、参加者同士で第2回目以降のことを相談して決める
必要に応じて、第2回目以降の開催場所についてご相談

みんなで食べると、

楽しい、美味しい。



みんなでごはん会のご案内

毎日の楽しみ『食事』。皆さんどのように食べておられますか？家族と？テレビを見ながら？ひとりで？楽しいはずの食事もなんだか味気ない…誰かと一緒に食事したい…みんなでごはん会は、自治会館や自宅を会場にして、地域住民が集まり、食事をとりながら交流、つながりを深める会食会です。

最初の5回は会場準備や食事の注文方法などを社協職員がお手伝いし、以降は自主的に継続して実施できるようサポートします。

開催回数：全5回

※開催日時については、希望者と相談し決定します。

対象者：〇〇自治会在住で、〇〇歳以上の方

開催要件：自治会内で希望者が3名以上あった場合開催します。

参加費：1回600円（お弁当、お茶付）

※2回目以降は、注文するお弁当によって金額が変動します。

申込方法

参加を希望される方は、氏名・年齢・住所・電話番号をそえて、

米原市社会福祉協議会 〇〇地域福祉活動センター

(TEL: 〇〇-〇〇〇〇 FAX: 〇〇-〇〇〇〇 Mail: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

へ電話またはFAX・メールで〇月〇日(〇)までにお申し込みください。

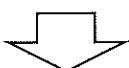
地域カルテの活用について

地域カルテとは、地域での暮らしに役立つ情報、活動する時に便利な情報などを、各自治会用「地域カルテ」と米原市全域の情報「暮らしに役立ち・便利につながる情報」の2つを合わせたファイルです。自治会長様、民生委員児童委員様、福祉委員様・福祉協力員様・福祉推進員様が、地域でそれぞれの活動をされる場合に、広く活用され役立つことを目指します。また、地域のみなさまと相談支援機関等から、それぞれの情報を出し合い、そこで暮らす人の支援に役立てます。

◆地域カルテの受取、活用、知っている情報を提供するまでの流れ

- 1 合同説明会において、自治会長様、民生委員児童委員様、福祉委員様・福祉協力員様・福祉推進員様は地域カルテの受取

【4月末】



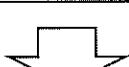
- 2 地域カルテは、地域で実施される役員会・懇談会、見守りネットワーク会議、研修会、サロンなどで活用

【通年】



- 3 自治会長様、民生委員児童委員様、福祉委員様・福祉協力員様・福祉推進員様は、地域での行事や地域住民から見聞きした地域の情報を、4月末に地域カルテと一緒に受取る新情報発見シートに記入

【通年】



- 4 新情報発見シートの提出について、自治会長様には郵送で、民生委員児童委員様には定例民児協で、福祉委員様・福祉協力員様・福祉推進員様には自治会長様を通じて、担当者から新情報発見シートの提出による情報提供を依頼

【1月】



- 5 記入済み新情報発見シートは、各地域福祉活動センターまで、または、福祉懇談会、見守りネットワーク会議などに出席する社会福祉協議会職員に手渡す

【2月末】

地域カルテ（ファイル）の取扱い

地域カルテは、地域のみなさま、関係機関からいただいた情報を基に毎年更新する新しいものを提供します。各任期満了の場合には、お渡ししているファイルを次の方へ引継ぎます。また、必要な情報や記録などをファイルに綴じ、有効活用していただくようお願いします。



サロン等出張ボランティア一覧表

R2.3.20改定

★サロン、老人クラブ等の集まりで活動してくださるボランティアさんの一覧です。

★ボランティアさんの練習や準備があるため原則として1か月以上前に依頼してください。

楽器の演奏・歌など

	名前	内容	会員数	備考
1	みしま4420	よし笛とギターとコラボ演奏	6人	パイプ椅子必要。3か月前には依頼してください。若干の交通費をお願いします。（要相談）
2	K&近江よし笛クラブ	よし笛の演奏・演奏に合わせて唱歌を一緒に歌う。	3人	第4金曜の午前中は練習日のため依頼は受けられません。若干のガソリン代をお願いします。
3	三味線あかね会	三味線の演奏	5人	時間は30分～40分。前後に紙芝居を入れて1時間くらいもできます。
4	キラキラ太鼓	太鼓の演奏(15～30分)	2人	親子で活動されています。交通費程度の謝礼をお願いします。
5	近江鼓音子(こねこ)隊	和太鼓の演奏	14人	簡単な体験を取り入れることも可能。屋内屋外ともに可能ですが、最低5×3m程度の場所が必要。屋外は雨天不可です。
6	米原ハーモニカクラブ	ハーモニカ演奏	15人	歌詞カードにするか掲示にするか検討するので参加人数や部屋の広さを教えてください。できればガソリン代程度をお願いします。
7	ベルフラワー	ハンドベルの演奏	9人	3ヶ月以上前に依頼してください。
8	伊吹民謡ボランティア	民謡の披露・カラオケ	5人	2か月くらい前には依頼してください。ガソリン代程度お願いします。（要相談）
9	さつきコーラス	懐かしい歌のコーラスなど	11人	遅くとも1か月前に依頼してください。
10	すいーと・ほーんズ	ホルンとギターの演奏	2人	機材は持ち込まれます。（コンセント1口必要）内容を高齢者や子どもに合わせられます。
11	トーンチャイム ひびきの会	トーンチャイムの演奏	6人	住まいが遠い方もおられるので、旧米原町、旧近江町だけにさせてください。
12	エレクトーンアンサンブル「花音」	エレクトーン演奏、手遊び、リズム遊びなど	2人	子どもから高齢者まで内容を合わせられます。機材等は持ち込まれます。ガソリン代程度の交通費要
13	エレキの秀やん	エレキギター演奏	個人ボラ	室内外OK 機材は持ち込まれます。1時間から2時間程度。料金は0～予算の範囲で。できれば交通費はお願いします。
14	個人	ハーモニカ演奏	個人ボラ	
15	個人（演歌歌手）	演歌の披露	個人ボラ	音響設備等持ち込みされます。事前打ち合わせ希望。要謝礼（1ステージ1万円から）。ディサービス等施設の場合は要相談。
16	個人	ピアノ演奏・うたの伴奏	個人ボラ	電子ピアノやキーボードがあれば用意してほしい。なければ持ち込みます。ガソリン代程度の交通費をお願いします。
17	個人	バイオリンの演奏	個人ボラ	
18	個人	江州音頭 音頭とり	個人ボラ	いつも3人で行かれます。民謡や歌謡曲も歌われます。遅くとも1か月前に依頼してください。

ダンス・踊りなど

	名前	内容	会員数	備考
19	千春舞の会(湖州会・三島会)	日本舞踊の披露（民謡・江州音頭）	15人	プログラムを組んで時間調整も可能です。
20	寿扇流	日本舞踊の披露	20人	お年寄りの皆さんご存知の懐かしい歌謡曲に合わせた踊りの披露もできます。
21	踊りボランティアそ乃香会	日本舞踊の披露	10人	時間は30分程度でお願いします。それ以上長い時間は無理です。
22	よさこいグループ近江笑人	よさこい踊りの披露	10人	特に夏・秋（7～10月）は連絡を早くしてください。
23	プラニスタジオ	フラダンスの披露	70人	日曜なら行けます。
24	フラダンス 入江フラワーズ	フラダンスの披露と大型紙芝居	9人	できれば木曜か金曜でお願いします。遠方の場合はガソリン代をお願いします。（要相談）

※裏に続く

大道芸・寸劇など

	名前	内容	会員数	備考
25	ブーさん	バルーンアート・手品など	4名	風船材料費として3,000円～必要。他に謝礼も必要です。会場までの地図必要。
26	うぐいす会	歌、寸劇、講談、浪曲劇、歌謡吟舞など大衆演劇のような内容です。	11人	会場の規模によりプログラムや装置を考える必要があるので事前に2回くらい下見と打ち合わせをさせてください。(活動休止中)
27	大道芸 湖北玉ちゃん会	大道芸(皿回し、バルーンアート、南京玉すだれ、マジック、腹話術等)	20人	会場までの地図必要
28	大道芸 てるちゃん会	皿回し、バルーンアート、手品、腹話術など	20人	材料費など不要、控室・音響があれば用意してほしい。できれば2ヶ月前には依頼してください。
29	たなばた女男座(いちざ)	フラダンス、寸劇、歌謡の舞、健康新体操、童謡、朗読	18名	
30	川田清一郎オンステージ	カラオケ講演などの出前	2名	1回あたり3000円+交通費をお願いします。ホワイトボード、腰高くらいの机。パイプ椅子の用意をお願いします。以前にやっておられた田楽の販売はありません。
31	対面朗読ボランティア やまびこ	朗読・紙芝居・歌・ゲーム・手品	8名	
32	個人	腹話術、ラフターヨガなどコミックマジック。	個人ボラ	マイクの用意をお願いします。日程にはだいぶん余裕が必要です。ガソリン代程度お願いします。
33	個人	手品や漫談	個人ボラ	
34	個人	手品	個人ボラ	活動休止中
35	個人	落語	個人ボラ	1高座5000円(交通費込み)なるべく1カ月前には依頼してください。

体験・製作など

	名前	内容	会員数	備考
36	美育・食育・健康推進ネットワーク 花笑美(はなえみ)	花の活けこみ・リサイクル花器つくり	4人	2か月前には依頼してください。牛乳パックやペットボトルを使った花器を作って一緒に生けるなどという活動が可能です。材料は家にあるものでできます。高齢者、親子等対象OKです。材料費、花代については要相談。
37	囲碁グループ	デイサービス利用者や子ども達との囲碁を通じた交流。	16人	
38	湖北笑いヨガクラブ	笑いヨガの体験指導	5人	
39	ヨガ	ヨガ(福祉施設、サロン向け対応メニューを用意しています。	個人ボラ	要講師謝礼1時間につき3000円～ 火・水活動希望。
40	個人	消しゴムハンコ作り、絵手紙の指導	個人ボラ	消しゴムハンコ…ハガキ1/4～、材料費500円～必要。(サイズにより変動する) 楽ばかり用意する場合は別途材料費請求。イベント…絵手紙に限らず参加費100円。(ハンコ貸出インク代含む) 材料は別途料金必要。所要時間1時間半程度、対応人数は10名程度(それ以上は要相談) 費用等詳しいことは都度相談させてください。

その他

	名前	内容	会員数	備考
41	滋賀県鍼灸マッサージ師会・米原市会	ボランティアでマッサージ	3人	折り畳みベット持ち込み可。座位(椅子)でのマッサージもできます。交通費(要相談)
42	個人	衣類リフォーム(介護、医療用など向けに改良も)	個人ボラ	材料費が必要。リフォーム代はボランティア価格。